

第52回彦根市PTA大会

2024年1月20日(土)

ひこね市文化プラザ エコーホール

参加者185名
たくさんのご参加ありがとうございました



会長 西村 忠生



彦根市PTA
彦Pだより

第155号 彦根市
PTA連絡協議会
広報調査部



中学生のホンネ川柳表彰
子育て川柳表彰

ひびきあいイラスト表彰



とても素敵なイラスト・川柳のご応募ありがとうございました

会長あいさつ

PTA会員の皆様には日頃より彦根市PTA連絡協議会の活動・事業、そして各单位PTAの活動にご協力をいただいておりますこと、深く感謝申し上げます。現在PTAを取り巻く環境は核家族化、共働き、ひとり親世代など各家庭の多様化、少子化による会員の減少、学校における働き方改革など大きく変化しています。そのような時代に対応した持続可能なPTA活動への変化が一層求められるようになってきました。

単位PTAにおいても事業の見直しをはじめ、役員の選出方法など時代に合った形に変化を進めておられるところも多いと思います。

PTA活動は「できるときに。できるひとが、できることを」が基本です。一部の人に負担が集中しないよう、会員の皆さんが少しずつ得意なことを、分担して、無理のない範囲でかかわって頂けるPTA活動を進めていただければと思います。

今後ともPTA活動へのご理解とご協力、ご参加をお願い致します。

*一部抜粋

令和六年一月二十日土曜日に彦根市PTA大会が執り行なわれました。開会に先立ち、元日に発生した令和六年能登半島地震にてお亡くなりになられた方に哀悼の意を込め会場内全員で黙とうを捧げました。

彦根市PTA大会では、多年にわたりPTA活動にご尽力いただいた方々へ感謝状の授与式、ひびきあいイラストや川柳の表彰式を行い、子育て体験発表やPTA活動発表、講演会と長時間に渡り、たくさんの参加者と多くを学ぶ時間となりました。

今年度もロビーではイラスト、川柳の展示と、制服体操服の譲渡会【カエコト】も開催されました。

制服・体操服譲渡会



第五十二回彦根市PTA大会での表彰者、発表者の皆様をおめでとございます

感謝状受賞者

小出 哲士 さん	東中学校PTA推薦
漢見 覚恵 さん	城東小学校PTA推薦
宮川 隆行 さん	稲枝西小学校父母と教師の会推薦

子育て体験発表 ひびきあい賞 「子どもの人生にレールを敷くのは是か非か」
林 薫 さん(稲枝中学校PTA)

大会宣言

私たち彦根市PTA連絡協議会は「彦Pは単位PTAのためであれ」を合言葉に、市内33校園のPTA会員8,600人余りの皆さんとともに歩んできました。

我々PTAは、夢と希望溢れる子どもたちの健やかな成長を支える本質は大切にしつつ、時代の変化に対応した持続可能なPTA活動を続けていきます。

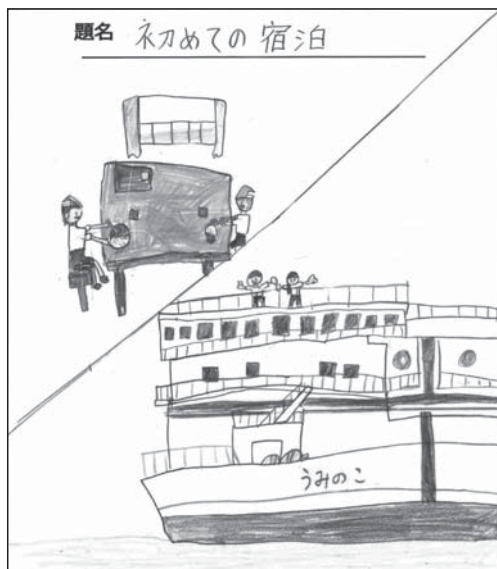
子どもと親の成長に繋がる研鑽の場を創出するとともに、子どもたちを取り巻く環境をより良くするため、学校、地域、諸団体との関係強化を進めていきます。

この度私たち彦根市PTA連絡協議会は、71年目を迎えるにあたり、更なる発展と進化に寄与できるよう、次のことに取り組むことを宣言します。

決 議

- 一、私たちは、園・学校・家庭・地域の絆をより一層深めるための核となり、ともに歩む持続可能なPTA活動を推進します。
- 一、私たちは、自らの人権意識を高め、勇気と思いやりのある心を育み、かけがえのない生命を大切に活動を進めます。
- 一、私たちは、家庭内での学習意識の向上に努め、子どもたちと一緒に学びあい、最適な学習環境の創出を推進します。
- 一、私たちは、コミュニケーションツールの使い方を正しく理解し、子どもたちの模範となる姿を示し、社会環境の変化に対応できるPTA活動を推進します。
- 一、私たちは、未来あるすべての子どもたちの健康を第一に考え、持続可能な社会の担い手となるよう、さらなるPTA活動の充実を推進します。

令和6年1月20日
第52回彦根市PTA大会



金城小学校
角川 莉生



令和5年子育て体験作文

今年もひびきあい作文とともにこども園・幼稚園・小学生に【イラスト】、中学生には【中学生のホンネ川柳】・保護者に【子育て川柳】を募集しました。作品の一部を掲載させていただきます。



旭森小学校
木村 琉翔



城西小学校
国領 結菜

子どもの人生にレールを敷くのは是か非か？

稻枝中学校PTA 林 薫

「親にレールを敷かれた人生」と聞くと、子どもの意思をあまり考えていないとか、子どもが本当にやりたいことが出来ないんじゃないかと、一見すると、マイナスな印象を感じます。実際、私も同じようなことを子どもの時には思っていました。

しかし、親の立場に立った今、我が子の幸せのためにレールを敷いてあげたいと思うようになりました。

スポーツで活躍してほしいと思い、サッカー教室やスイミング教室に通わせたり、良い高校や大学に入り、大手の企業に就職して、何不自由なく生活してほしい。だから学習塾にも通わせています。子どもの幸せを願わない親はいないのではないのでしょうか。

これだけ言うと、前述のマイナスな印象しか受けませんが、私が気をつけていることは、敷くレールは一本だけにしないということです。

子どもが人生の岐路に立った時、色んな方向に進めるよう何本もレールを敷いてあげることが大切だと考えています。そして、どのレールを選ぶかは、家族でしっかりと話し合い、その時その時の最善のレールを一緒に選んであげることこそが子どものためだと思っています。

さらに、一本のレールだけにこだわらず、たとえ選んだレールから外れてしまっても、それを否定せず、原因を一緒に考え、逆にチャンスだと考え、その次のレールをまた何本も敷いてあげることこそが親の役割だと考えています。

子どもの人生の可能性は無限です。ですので、いつか子どもが自分の力でレールを敷けるようになるまでは、無限にレールを敷いてあげようと思います。

子どもから学ぶ子育て

城東小学校PTA

木村 剛

私には、異性の双子の子どもがいます。生まれたときから、二人を比較してしまいうことがよくありました。一人が出来ることが、もう一人が出来ないと心配になったり、出来るように練習させたりすることがありました。今は小学六年生になり、私たち親としてそれなりに成長して、二人を比較したり、出来ないことになり、私たちが感じる必要はなかったと感じます。子どもの成長には、その子なりのスピードがあり、個性があります。現に二人を同じ環境で育ててきましたが、全く似てない容姿、性格です。

これまでに経験した子育てから、個性を尊重してあげ、個性のもつ可能性を伸ばしてあげるためには、子どもをしっかり見つめることが大切だと思います。親は手を貸す必要もありますが、自分でやり切る力、自分で考えぬく力を育むためには、手助けを我慢して見守ることも必要となってきます。

子育ての正解・不正解はわからずに手探りで今日までやってきましたが、子どもたちの明るい未来をサポート出来るよう、父親として微力ながら、努力していこうと思います。

佐和山小学校
小牛尾 正喜稲枝東小学校
吉村 旭稲枝東小学校
奥野 将

小学校生活最後の一年間への願い

城東小学校PTA

匿名



息子がリコーダーの練習をしていたときのことである。「今の小学校ではどんな曲を習うのだろう。」と音楽の教科書を何気なく見てみると、裏表紙にある著作者の中の一人の名前に気付いた。私自身が小学校五年生のときにお世話になった音楽の専科の先生の名前であった。

懐かしい気持ちと同時に様々なことを思い出した。その先生の音楽の授業がとても楽しかったこと、些細なことだが褒められたことがきっかけで音楽が大好きになったこと、鼓笛隊の一員になりたくて選抜テストの勉強を一生懸命したこと…。その後、鼓笛隊に選ばれたものの余儀なく転校することになり、五年生の一年間しかその先生にはお世話になれなかったが、小学校生活一番のよい思い出として残っている。

息子も「〇〇の授業が楽しい。」とよく話している。社会だったり算数だったり、そのときにより〇〇の教科は変わるのだが、三年生のときには「音楽が楽しい。」と言っていた。初めて聞く言葉に驚いたのと同時に、かつての私と同じように感じた気持ちがあつたのだろうと思うと嬉しくなった。得意・不得意に関わらず、楽しいと感じ、前向きに取り組む姿を見られるのは、学習内容を教えて下さるだけでなく、子どもの心を動かして下さっている先生方のお蔭だと思う。

成長して大人になったとき、子どもの頃に経験したたくさんのことを思い出出ることがあるだろう。辛かったことや苦しかったこと、それらの経験を決して忘れることはないだろうが、楽しかった思い出はきっとそれらを上書きしてくれる。そう信じて、残りの一年の小学校生活、友達や先生方と楽しい毎日を過ごしてほしいと思う。小学校卒業の日、「城東小学校で六年間過ごせてよかったな。楽しかったな。」と思えるように…。

予言者として

城陽幼稚園PTA

透明人間



人間とは、危機管理能力を持たない生き物である。子どもは、特にだ。彼らの動きを制御できる機械等あれば世の母親は、泣いて喜ぶことだろう。何故なら彼らは、文字通り危険を顧みず行動する。ある時は、石垣から飛び降りる時は、側溝へダイブする。ケガをするために動くのだ。「転ぶから走るな」という軽い注意をしたつもりが、図らずも予言となる。世界一役に立たない能力が開花する瞬間である。もつと楽しいことに、この能力を使いたい。しかし…なのである。

そして転んだ子どもを起こす、膝の砂を払う、「だから言ったのに」その言葉が喉まで出る。ふと考える。これは、子どもへの注意を促すモノではなく自分の予言が当たったことへの賞賛でしかないのではないか。子どもへ伝えるべき言葉は、「ドンマイ」これに限られるのではないか。痛かったね等と共感することにより、感傷に浸られても面倒だからだ。せつかく遊びに来ているのだから一刻も早く機嫌を直し、遊びを堪能することに集中してほしい。少なくとも私はそう考えている。

ただ無駄な能力とわかっていながら、つい口にしてしまうのは、期間限定の喜びと寂しさからかもしれない。

わが子が大きくなれば必要がないのだ。私の能力もあと数年で終わりを迎える(はず)なので今日もどこかで予言者が生まれていると思うと、ムネアツで少し切ない。



金城幼稚園

田中 結翔



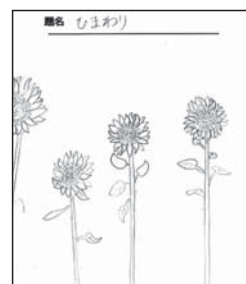
平田小学校

吉田 琉空



城陽幼稚園

加藤 三侑



稲枝西小学校

大中 千咲

おでかけのなかで

高宮幼稚園PTA

匿名

名



私の今の子育てで大切にしていることは、いろいろなところに出かけて息子との思い出を作ることです。

旅の中で大切にしていることはスケジュールを組む段階から子どもに参加してもらうことです。

いつも大人と子どもが両方興味関心のある旅先にしています。すべてを息子好みにすると私が楽しめなくなるので、食事は親の好みに合わせるなどして、バランスを取っています。旅先を決める時間は自分の気持ちを伝える練習になったり、また相手の都合も汲む機会になっていると思います。

目的地に着く時間や何時に家を出発すればいいかななども一緒に調べたり、相談します。旅先においても、電車の運賃がいくらかかるか、バス停にバスが来るのは何時なのか、混雑しない時間帯に食事をするには…。いろいろなことを相談していくうちに看板から判断したり、時間の逆算などをできるようになってきたと思います。

子育ては一生の仕事ではありますが、一緒にお出かけしてくれる期間は少しだろうと思うと今全力でお出かけを楽しみ、たくさん思い出を残していこうと思います。

子どもたちへ

南中学校PTA

匿名



私には妻と二人の子どもがいます。今年、娘は無事に中学校に入学しました。その時々で状況で子どもと一緒に一喜一憂しながら、あつという間に今日に至った感があり、改めて月日の経つ速さに驚かされます。

娘の中学入学に伴い、自分自身の生い立ちを振り返ってみました。中学時代は勉強と部活の両方を頑張つて、偏差値の高い高校にいきたい。高校時代も同じように過ごし、就職活動に有利だからという理由で親の脛をかじり、大学に進学させてもらいました。そして、内定をもらえた企業に就職できればいい！なんとかなるやろう！そんな浅はかな考えで、なあなああの子の学生生活を送り、いつの間にか社会人の仲間入りをしていました。

友達に恵まれ、いい思い出もたくさんあります。ただ、社会人になって約二十五年、今一番思うことは「もう一度、中学時代からやり直したい…」
―後悔先に立たず―

勉強・経験を積むことはすごく大事なことで、自分の将来への可能性を大きく広げてくれるはず。ただ、それを将来的にどう活かせるようにするのか考えないと宝の持ち腐れになってしまいます。

子どもたちは私が仕事から帰路に着くと、「おかえり！」と大きな声をかけて出迎えてくれます。情報社会の著しい成長に伴い、ますます利便性がよくなっていると思いますが、そんな癒してくれる子どもたちに、親として人とのコミュニケーションの大切さを伝えながら、自分の人生を振り返った時に私と同じような後悔がなく、充実した人生を送れるように妻と力合わせて子どもたちをサポートしていけたらと思います。

何気ない一日一日を大切に、力強く、一步一步、前進してくれることを願うばかりです。



城西小学校
小林 咲絵



平田こども園
西村 奏汰



旭森小学校
森 陽向



城東小学校
田邊 慶次朗



金城幼稚園
佐次 萌瑛

ひびきあい 中学生のホンネ川柳優秀作品

素敵なお作品がたくさん届きました♪
ご応募ありがとうございます。



母の声
朝でも夕でも

目が覚める

西中学校 野本 彩菜

できたわよ
急いでいけば

できてない

東中学校 りな

探し物
場所当てられる

母強し

東中学校 柴田 七海

新しい生活

彦根市PTA連絡協議会 副会長 中村 和智

なかなか子どもに恵まれず、やっと生まれてくれた娘でした。でも共働きということもあり、0歳から乳児保育園にお願いすることになり、朝の送りは時間に余裕のある自分が乳児保育園まで送ることに。他にも、子どもをお風呂に入れたり、寝かしつけ、等々今までの生活スタイルは一変したのですが、それも時間がたてばそれが新しい生活スタイルとして段々と慣れてきました。

それでも時折、新たな変化がやってきます。例えば、乳児保育園から保育園に変わるときや、小学校への入学、新しい習い事を始めるとか、他にも悪い出来事も。祖父が病気で突然入院、退院したかと思えば次は祖母が入院。お迎えは祖母、祖母だったのでこの時は大変でした。

そして最近あった一番大きな出来事は、PTA会長になってしまったということです。因みにPTA会長になっていなければ、この文集も書くことはなかったかと思います…。

乳児保育園から今まで大きな役に当たってこなかったのですが、小学校に入ってからPTA会長が当たるとは思ってもいませんでした。学校によっては、会長は高学年の親から選出するとか、色々ルールがあったりするらしいのですが、当校にはその様なルールもなく、今回は自分が引き受けることに。

皆さんPTA会長って大変そうって思われますよね。はい、確かに色々ありますが、今まで知らなかったことや、新たなつながりが出来て決して悪いことばかりではありません。今となつては、これもまた新しい生活の一部としてやっていきます。

次にやってくる変化も、良いものか悪いものかはわかりません。また予測の出来ることもあれば出来ないこともあります。家族で上手く乗り越えて行ければと思っています。



ひびきあい 子育て川柳優秀作品

viva cityひこね
みどりの広場

2024.1.22 ~ 1.31

テスト前

子どもはのんき

親焦る

稲枝中学校PTA おはるさん

反抗期

怒る私は

更年期

中央中学校PTA M

宿題の

答え聞かれて

母悩む

金城小学校PTA ウンゴー



ご応募いただいたイラスト
全作品を展示させていただきました。

ひびきあい子育て作文集発行によせて

彦根市PTA連絡協議会 会長 西村 忠生

平素は彦根市PTA連絡協議会並びに各校園の単位PTA活動へのご理解、ご支援、ご協力を賜り深く感謝申し上げます。

コロナで三年間縮小を余儀なくされていた様々な活動が本格的に動き出しました。マスクをはずして活動できるようになった今年、人と人が顔を合わせ、話し、ともに活動できることがいかに刺激的で、楽しく、ありがたいことであるかを感じる一年になりました。

私には大学一年生男子と中学二年生女子の二人の子どもがおります。情けない話ですが、子どもたちも中学生以上になると、一緒に出掛ける機会も少なくなり、会話も短くなり、妻から子どもたちが勉強や部活動などを頑張つて日々成長している様子を聞く機会が多くなりました。子どもと一緒にいられる時間は本当に長いようで短いものであると感じます。

時代の大きな変化についていくことに戸惑いすら感じる親世代に比べ、これから時代を生きる子どもたちはその大きな変化の中で、成長し続けています。子どもたちに対して、最も身近な存在として私たち親の成長も必要不可欠です。そして人が成長するのは人とのふれあい、コミュニケーションによつてであると思います。

彦根市PTA連絡協議会や単位PTAでは「子どもの健やかな成長を図る」ため、校園での活動の場や、研修会などを通じて、子どもたちのためのみならず、保護者自身の親育ち、家庭教育力の向上の機会を提供できるよう、人とのふれあいの場を大切にして多くの方々の協力のもと行っている活動しております。これからもPTA活動へのご理解とご協力をお願いいたします。

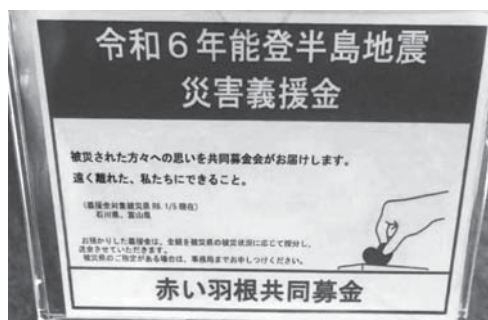
文末になりましたが、寄稿者の皆様にはご多忙のところ筆をとっていただき、ありがとうございました。彦根市内の保護者の皆様の様々な経験が寄せられてい

ることを共有することで、よりよい子育ての参考にしていただければと思います。ぜひ一読ください。

令和6年能登半島地震災害義援金 ご協力ありがとうございました

彦根市PTA大会では「令和6年能登半島地震災害義援金」として受付に募金箱を設置させていただきました。皆様のご協力のおかげで、
募金額「5,500円」のご協力をいただきました。

お預かりした募金は、社会福祉法人滋賀県共同募金会彦根市共同募金委員会へ寄付させていただきました。心より感謝いたします。





第五十二回彦根市PTA大会での講演は大阪府箕面市より、マジックパパ代表の和田のりあきさんをお迎えして「子どもと大人がつながる地域へあいさつの魔法」と題しお話いただきました。

マジック披露から始まり、日常生活における子どもたちとの接し方、地域とのつながりの大切さを再確認できました。

彦P大会 講演会

子どもと大人がつながる地域へ ～あいさつの魔法～

参加者アンケートより

とても引き付けられる口調で、終始飽きることなく子育てについて学べました。

私はマンションに住んでいます。マンションは高齢の方が非常に多く、年々子どもは減っています。自治会と子供会とが繋がり、ふれあいサロンを開催しています。私は3月で子供会は卒業しますが、これからも携わっていききたいと思っています。地域の大切さを改めて考えさせられました。

子どもにとって環境がとても大切だということを改めて認識させてもらいました。現代の便利な社会を否定することなく、子どもたちに本物を体験させてあげることが親としてできることだなと感じました。

自分から多世代へ関わっていく姿を子どもに見せることで子どもの成長はもちろん、地域がより良くなってみんなが住みやすい街になるのかなと思いました。

まずは、自分がやってみる、関わってみる、をやりたいと思います。

単位PTA活動発表

「輝く未来につなげよう ～今こそ変化の時～」

城西小学校PTA

「学校や家庭における教育環境の改善充実～子どもたちの思いを大切に～」

中央中学校PTA



彦根市PTA大会のロビーで今年もHotHot〜ほどほど〜さんのよる【カエコト】が開催されました。HotHot〜ほどほどは、ものの循環を通して地域のつながりの輪を広げ、子育てしやすい街づくりに取り組みんでいるボランティア団体です。



彦根市内の学校やアルプラザ彦根・パリヤにリユースポストを設置し、寄付された服のクリーニング等を行い譲渡会【カエコト】を開催されています。カエコト以外にも、リユース品の常設会場「HODHOD七曲り」や、一人暮らしの大学生や必要な子どもへお弁当の配布を行う「ホッと♡Hot弁当」・中地区公民館で「ホドホド食堂」など幅広い活動をされています。



●あとかぎ●
各単位PTAの皆様・地域の皆様にご協力いただき第一五五号を発行することができました。ひびきあい作文をご寄稿いただきました皆様、イラスト・川柳にご応募いただきました皆様には厚くお礼申し上げます。令和六年度も変わらずご支援ご協力よろしくお願ひします。

広報調査部員一同

【地域共生型社会推進事業】

次の方へおゆづりしませんか？ 制服・体操服・子ども服
みんなの気持ち子どもたちへ届けます

「まだ着られそう、もったいない……」
「助かります！ありがとうございます！」
「必要としている人へ届けたい！」
～カエコト～「ホドホド」がその思いをつなげます。

おさがりでみんなハッピー！
ゴミの削減につながる

Hot Hot 〜ほどほど〜
リユース
ポスト
回収BOX

ポストに入られるものは？
お家に眠っていて、まだ着られる制服や子供服などをお願いします
○彦根市内の中学校、小学校、幼稚園、保育園の制服・体操服、制服、赤白服、高校の制服 ※卒業後5年以内のベビー服、子ども服（～160cmまで）、木のおもちゃ

ポストで回収したあとどうなるの？
分別や保管、必要に応じて修繕をして、必要とする方へお渡しします
○リユースイベント「カエコト」
○カエコトひろば
○彦根市や彦根市社協を通じて必要とするご家庭へ

ポストの設置場所は？
2022年には、市内全中学校、小学校に設置を予定しています。パリヤ様、アル・プラザ彦根様の店内にも設置させていただいておりますので、お買い物のついでにご利用ください。

HotHot〜ほどほど〜
お問い合わせ先
Instagram@HDM または メール/hodohodo.hikone@gmail.com
後援：彦根市・彦根市教育委員会 協力：社会福祉法人彦根市社会福祉協議会／パリヤ／アル・プラザ彦根／近畿ろうきん彦根支店（※R3506）

生活協同組合コープしが

安心で便利な生協の宅配をはじめませんか！

まずは資料をお届けします。

資料請求コチラ

《コールセンター》

0120-709-502

月曜日～金曜日

8:30～20:00

土曜日

8:30～15:00



子どもたちに確かな楽力を！
教材品販売一筋に70余年

(株)西村教材

彦根市古沢町710-52

TEL 0749-22-2137

FAX 0749-26-2953

KUMON

できるだけ早い時期に、
「自学自習で高校教材」を！

佐和山東/彦根金城東 教室

算数・数学・英語・国語

指導者 西野 雅子

《佐和山東》〒522-0033 彦根市芹川町527-3

《彦根金城東》〒522-0053 彦根市大藪町188-7

tel: 0749-22-4313 携帯: 090-7099-6910

自立学習支援塾

はやし じゅく
林 塾

伸びる勉強法を教える塾

自立 林塾 で検索してください

彦根市金沢町616-22(稲枝郵便局の裏)

フリーダイヤル 0120-05-4730

学生衣料総合専門店



トラヤ

本店 彦根市銀座町5番4号

TEL 0749-22-5821 代表



カンパニー・ボナテラ彦根教室

マーガレット・バレエスタジオ

生徒募集中

幼児～大人まで



彦根市中央町7-47 Kビル2F

Tel. 090-6966-7246(浦部)

http://www.bona-terra.jp/studio/margaret

